



北浜こども園

にこにこ通信

★保育コンシェルジュ通信★

令和3年度 2号



寒さが少しずつやわらぎ、春の訪れを待ちわびるころとなりました。

今回は、自然豊かな地域に開かれた北浜こども園の『防災ウィーク』の様子取材してきました。

北浜こども園では、毎年1月に『レッツ防災!』～今、私たちにできること～をテーマに1週間かけて『見る、感じる、考える』と五感をたくさん使って『命を守る防災教育』が行われています。

『防災ウィーク』では、防災体操、いろいろ防災遊び、避難訓練、防災食試食、防災用品の展示などが行われ、地域の方も巻き込んで園から家庭・地域へと発信しています。

◆防災食展示◆



門扉を入ると、防災食が展示されていました。災害時、何がどれくらい必要なのかわからない方も多いと思います。私たちもそうですが、実際に展示物を見て、こういった防災用品をどのくらい揃えたらいいのか具体的に知ることが出来ました。展示物の中には、意外に普段食べているものや家にある食品がありました。防災食を備蓄用に準備しておいて賞味期限がきれてしまったという経験もあったので、買い物時に備蓄できそうな食品を少し多めに意識して買っておくという事も防災につながっているのでは、と気付かされました。

『防災ウィーク』では、給食備蓄食品を食べると聞いて、この機会に以前から興味があったアルファ化米（保存期間5年）を実際に試食してみました。作り方は、お湯を入れて15分待つだけです♪ 気になるお味は... まるで炊きたてのような食感! ごはんやワカメの塩加減も程良くとても美味しかったです。スーパーや通販で購入することが出来ます。



ダンボールベッド



ダンボールトイレ



防災セットのおもさは？

玄関ホールには、先生とこどもたちが一緒に作成したダンボールベッドとトイレが展示されていました。東日本大震災より、ダンボール製品（ベッド、椅子、トイレ、パーテーションなど）が進化しており、断熱・防音効果、再利用可能等、ダンボールの特性を生かした製品がたくさん作られています。ダンボールベッドはなんと4トンの荷重に耐えられるとのこと、実際にベッドに座ってみました、安定感があり、とても頑丈でした。

◆避難訓練◆



おひさまぐみの年長児クラスと一緒に高台避難訓練に参加しました。準備体操・耐寒マラソンでしっかり身体が温まったところで、先生たちに見守られながら北浜トンネル南側から一本松（日笠山）へ向けて出発です。この訓練は5年前から取り組まれています。今年は、北脇自治会長さんと自然に親しむ会のメンバーの方々が同行してくださいました。メンバーの方々は、足元がすべらないように落ち葉を取り除いたり、登りやすいように木で階段を設置したりと、安全に登山を楽しめるように定期的に登山道の整備、点検活動をされています。今日も、先頭に立ち大きな石や折れた木の枝を脇によけながら、おひさまぐみのこどもたちの登山をサポートしてくださいました。また、急な坂にはロープが張られ、何度もそのロープに助けられました。分かれ道には手書きの道標が設置してあり、迷わず目的地に辿り着けるようになっています。こどもたちは足元に注意しながら、一步一步足を踏ん張って登っていきます。途中、こどもたちの間で「〇〇くん大丈夫？」後方のおともだちに「がんばれー」と声をかけ合う場面がみられました。さすが年長さんです。頼もしさを感じました。



登山道には、事故が発生した場合に備え右の写真のような標識があります。標識には、番号が記載されており、119 番に電話をしてその番号を伝えると位置情報が分かり救助に来てくれます。

雪がちらつくなか、体がほかほかあたたまってきた頃前方から「ここでちょうど半分ですよー」と園長先生の声が聞こえてきました。「え、まだ半分!？」内心驚きつつ息を切らしてついていきます。想像していたより勾配があり、日々の運動不足を実感しました。そんな私たちをよそに、こどもたちやメンバーの方々はまだまだ元気です。しばらく歩き続けると、周囲がひらけ明るくなってきました。「わあー!」「ついたー!」こどもたちの嬉しそうな声が飛び交います。「さいごまでのぼれた。」こどもたちの顔は、自分の足で山頂まで登った満足感や達成感できらきら輝いていました。春にはいよいよ1年生ですね。

頑張ったこどもたちに園長先生からご褒美がありました。頑張った後のおやつは格別です♪ ここでは、馴染みのあるビスコが非常食であること、さらに缶入りにすることで長期保存（5年間）出来るようになったなどのお話を聞きました。



メンバーの会長さんから 27 年前におきた阪神・淡路大震災の当時の様子、いのちの大切さについてお話を聞きました。お話しのあと被災された方々に黙とうを捧げました。北浜こども園では当時の記憶を風化させないよう、もしもの時に備えて『命を守る防災教育』を継続して取り組んでいます。



山頂からの展望は絶景でした。今日はあいにくもやがかかっていましたが、晴れた日は鳴門海峡や四国まで見えるそうです。こどもたちが、「わたしのおうちあそこ」「山登りたのしい!」「ここきたの今日で3回目」と教えてくれました。メンバーの方が木を伐採してくださったおかげで園がよく見えます。みんなで声をあわせて「ヤッホー」と叫ぶと園庭に出てくれていた園児たちが「ヤッホー」と返事をしてくれました。「せんせい、きこえた!!」みんな大喜びでした。



やっほー!!



一本松



レッツ防災



訓練後、自治会長さんと北脇の自然に親しむ会のメンバーの方々にお話を聞きました。10 年前から月に 1 度活動を行い、世代間交流にも取り組んでおられます。定期的に山の草刈りや整備をしてくださるおかげで、訪れた人が安全に登山をたのしみ、景色を堪能できます。「みんなにこの景色を見ていただきたい」とおっしゃられていました。「四季折々、山の表情は違うので登るたびに新しい発見がある」というメンバー会長さんのお話を聞いて、山の魅力の奥深さを知りました。また、「とんど祭りやハイキングなど、小さい頃からその地域に根付いている伝統行事に参加することで、自分の生まれ育った町に愛着を持ち、北浜地区に住み続けて欲しいです。」と、北浜の地元愛に溢れる思いを語って下さいました。

園長先生にインタビュー

★北浜こども園の魅力を教えてください。

「北浜こども園の周りには、手の届くところに山も海もあり、イノシシやサルなどの動物がいて、生き物、木、草花を季節ごとに愛でることができる自然にめぐまれています。コロナ禍でバスに乗れなくても、歩いて行ける範囲に自然豊かな公園など楽しい場所がたくさんあります。また、地域の方との交流が深く、園の行事にも積極的に参加してくださっています。」

★防災ウィークが始まりましたが、こどもたちにどんな事を伝えたいですか。

「北浜こども園のこどもたちは、どんな事にもとても意欲的に取り組んでいます。『防災ウィーク』では、遊びを通して、怖がらずに楽しく学んでほしいです。そして、この体験がこどもたちの生き抜く糧となってほしいです。」

★給食の人気メニューを教えてください。

「カレー、コロッケ、オムレツ、フィッシュカツです。」



防災訓練に参加させて頂き、先生や地域の方々の防災に対する意識の高さを感じました。また、毎月の避難訓練や、毎年行われる『防災ウィーク』など、繰り返しの訓練や遊びを通して『自分の身は自分で守る』ことを身に付けているのだと改めて感じました。また、日頃からの地域の方々との交流が地域に開かれた北浜こども園を築いているように思えます。「今度こんなイベントがあるから先生とこどもたちもおいでよ」と気さくに声をかけてくれる地域の方々と園長先生の様子を拝見し、微笑ましく思いました。登山でからだは疲れていましたが、こころはほっこり温まった一日でした。